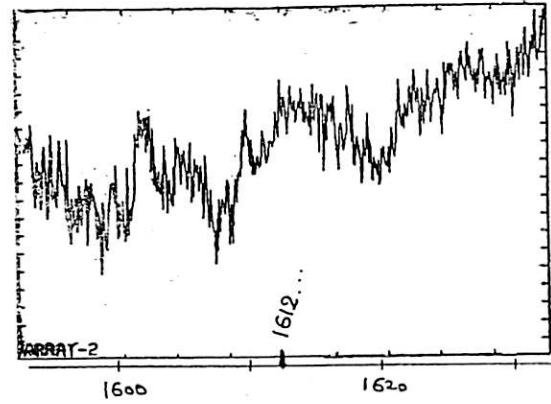


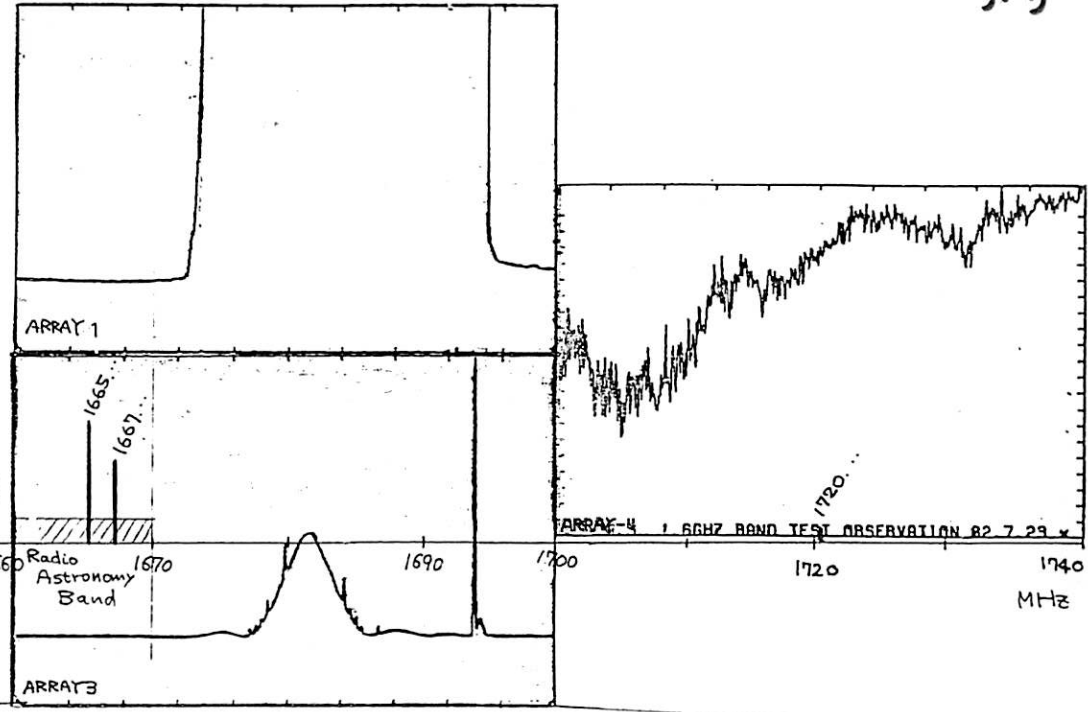


## 望遠鏡 OHバンドで GMS II (気象衛星ひまわり) 受信!



保護バンド  
モニター  
する。

← VISSAR 送信時  
(25 sec ON - 25 sec OFF) →



OHバンドのほとりの気象衛星からの  
スプリクス放射が国際的に注目  
されてきたが、このあたりのバンドのモニ  
ターをおこなった。

オフト分光計(高分散)4系統を  
上記 Quick Look Data の4バンドに  
設定、うち上つは OH main line と  
GMS Band を広くも 高ゲイン、低ゲイン  
とした。

積分して  
さらに  
拡大

積分は 1 Jansky 以内まで、ON=OFF  
観測をおこなった。

☒ はキャリブをおこなっていないが、  
VISSR 送信時に 10 Jy 程度の emission  
(34 kHz) が 1669 MHz フキンに存在するの  
がわかる。また 1660-1670 MHz 側で  
スプリクス放射のレベルを下げている  
のもわかる。

